

フロムワンとお取引頂きましたユーザーさまにお届けするニュースレター。

発刊者 (有)フロムワン

川口市東川口1-16-6-2F

TEL 048-291-2240

FAX 048-291-2242



代表 山本 達也

取り扱い業務

FAX/コピー機/複合機

リサイクルトナー等サプライ品

業務用IP電話システム

電話工事/LAN工事

インターネット環境のコンサルティング

「1から」通信

発行部数 400部 平成24年秋号(29号)



やっとのことでも少し過ぎ「しやすくなってきました。いかがお過ごしでしょうか？今年の夏はホントに、厳しかったですネ。そんな暑さの中、小三の娘と小二の息子が「剣道」を習い始めました。それにつられて、小二から高校春までやっていた私も、なんと二十七年ぶりに、剣道を再開してしまいました……(大丈夫か？俺？)ハチマキ組(基本組)の子供たちも、先週から道着・袴の着用が許され、張り切って竹刀を振っています。

力を持て余していたお姉ちゃんは、「目標は先ず、埼玉一になること！」と日記に書くほどの熱のいれよう。

へッピリ腰の弟くんはその姿が可笑しくもあり、凜々しくもあります。これから涼しくなり、益々稽古にも身が入ることでしょう。

体中シブとテーピングだらけ、現在肉離れ中の※「リバ剣」オヤジこと、山本がお送りするニュースレター二〇二二 秋号。

それでは元気になってみましょう。おメーン！(イタタタタ……)

※ 私のような剣士を、最近巷では「リバイバル剣士」というらしい。



ご注意ください！！

これまでも何度かお伝えしてきましたが、最近またおかしなセールスが多くなっているようです。弊社へも、不審に思われたお客様からのお問い合わせが増えています。

内容としては、

- ① NTT委託業者などと名乗り、「料金が安くなるので、該当するかどうか確認に伺い、認印が欲しい」
- ② ビジネスホン、コピー機等のメーカー、又は保守会社などと名乗り、アポイントを求めてくる。

というようなセールスが多いようです。

なぜ彼らは、このようなことをするのでしょうか？

お客様にとって不要な情報、有益な情報を選別する参考にしていただけるよう、今回はまず①のケースについて、これまでより少し詳しくお話してみたいと思います。

① NTT委託業者などと名乗り、「料金が安くなるので、該当するかどうか確認に伺い、認印が欲しい」について

うっかりアポイントに応じてしまうと、知らないうちにNTT→ソフトバンクなど、利用する回線業者が変わってしまっていることがあります。

これは手続きをした業者に、回線事業者(この場合ソフトバンク)から、一定の手数料が支払われるため、彼らは怪しげなセールストークで数多くのアポイントを取り、なんとか手数料を獲得することが目的です。というのも、マイライン等の回線申込については一般的に担当者の認印などがあれば、書類が通ってしまうからなんです。

問題点

万が一知らずに申ししてしまったとしても、回線だけであれば、お客様に経費的負担は少ないことが多いのですが、

- ・支払先が複数になり処理が煩雑になる。
- ・このような業者は、営業がすぐに辞めてしまいますので、会社そのものが無くなっていたり、トラブル時や相談時には、なしのつぶてになることが多い。

などいざという時、とにかく手続きや問い合わせが大変になります。また、ひどい時には気がついてみると不要なビジネスホンのリース契約までせまられるお客様もいらっしゃいます。



対応

- ① まずは相手に会社名と担当者名、連絡先を「しっかりと」聞いてメモして下さい。そして御社と取引のある会社なのか確認しましょう。もし過去に覚えのない業者のようであれば、御社の誰と話をしたことがあるのか確認して下さい。
- ② 迷った場合には、現在お取引のある担当者や、信用できる知り合いに連絡をして内容を相談してみてください。正確な情報を教えてくれるでしょう。
- ③ あまりにもしつこい場合は、本社の連絡先と代表者名を聞き、直接連絡してみると伝える。(彼らは、上司の叱責を極端に恐れます。)
- ④ また、後ろめたい業者は、行政からの指導が入り、営業停止になることが最もダメージが大きい為、①と③をメモの上、消費者センターに連絡する旨を伝えてみるのもよいでしょう。



最後に

もちろんこのような業者ばかりではありません。しっかりと名乗って堂々と用件を伝えた上で、お話を聞いて欲しいと、お客様の判断を仰ぐ正しい業者もたくさんあります。その上で、話を聞くかどうかご判断をされるのであれば、お客様にとって有益な情報もたくさんあると思います。あくまでも「煙に巻いたような話をする」業者には、上記を参考にして対応してみてくださいね。

次回ではケース② **ビジネスホン、コピー機等のメーカー、または保守会社などと名乗り、アポイントを求めてくる。** についてお伝えします。

おすすめ本

子供たちが剣道を習い始めたきっかけが、私が高校時代、週間少年サンデーに連載されていた30年前のこの作品なんです。



＜六三四の剣＞
著者：村上もとか

あの「JIN-仁-」原作で有名な村上もとか氏の不朽の名作です。

仕事中に立ち寄ったコンビニで見つけ、「すげえ、なつかしい。」と購入しリビングに置きっぱなしにしていたところ、気が付くと子供たちがむさぼる様に読んでいました。

岩手の虎と呼ばれ、全日本選手権を2度制した亡き父、夏木栄一郎の志を継ぎ、幼少から高校生まで日本一の剣士を目指す、夏木六三四の青春物語です。

六三四が日本全国のライバル、仲間達、家族とともに切磋琢磨、成長してゆく姿を村上作品らしく、大きなスケールと時間軸で見事に描ききった作品です。

少年マンガの王道ここにあり。剣道に縁のない方でも機会があれば是非。

【編集後記】

私が剣道を再開するにあたり、「もしかしたら使えるかも知れない」と思い、四国の実家から、学校時代に使っていた防具を送っていただきました。

27年ぶりの再会に少しドキドキしながらダンボール箱を開けたとたん、あの防具の独特の匂いとともに、30年前の私の汗が染み込んだままのボロボロの面と胴が出てきました。

急に胸が締め付けられ、「もう辞めたい。」と思いながら、くる日もくる日も稽古に明け暮れた日々が一瞬にしてよみがえってきました。そして、不覚にも涙が…なんて感情的になっているところに、奥さんが耳打ちしてきました。

「あの娘、あんなに剣道に熱心なのは、六三四君に恋しちゃってるからじゃない。」とのこと。

ぬあ、な、なんと！こりゃ聞き捨てならん。

「六三四、来い！リバ剣オヤジと勝負だ！ イタタタ、タイム。今日はこの位にしてやる。」(半泣) ということで、皆様もお体は大切に。 皆さんまた新春号で！！それでは。

…その後、送られてきた防具は、何故かまた使おうとする気になれず、大事にしまっておくことにしました。



塩がふくほど
私の汗が染み込んだ防具。

30年前にもかかわらず
カビ一つ生えていません
でした。

大切に保管してくれていた
両親に感謝……。



お久しぶりです。
マーです。
ぬいぐるみと
ポーズを決めて
おすまします。

お久しぶりです。
ミーです。
すごい格好で
お昼寝中です！

